

2019 おすすめ！りんご品種資料

平成 31 年 1 月

2019 年おすすめするりんご品種を紹介します。

市内のふじ・つがる等は老木化が著しいため、この時代に適合する品種を持って園地の若返りを図ることが急務です。園芸品目の複合経営のなかで下記のりんご品種を導入してみませんか？

検討品種特性メモ

品種名	交配・来歴等	収穫時期	貯蔵性	特性
シナノリップ 【おすすめ！】	千秋×シナノレッド	8月末	常温で約10日	果形は横長 収穫前落果小！
百年ふじ 【おすすめ！】	らくらくふじ枝変わり	11月上旬	常温で約3カ月	濃赤色で縞が不明瞭 11月初旬収穫可能！
ぐんま名月 【おすすめ！】	あかぎ×ふじ	11月上旬	常温で約1カ月	黄色系品種 酸味なく食べやすい
いろどり	紅玉×ピンクパール	11月上旬	常温で約1カ月	濃赤色で縞が不明瞭 赤色果肉
ムーン ルージュ	いろどり×ふじ	11月中旬	常温で約1カ月	黄色系・果形は横長 赤色果肉（蜜入り）
なかのの きらめき	いろどり×王林	11月中下旬	常温で約3カ月	黄色系・果形は縦長 赤色果肉（鮮明）

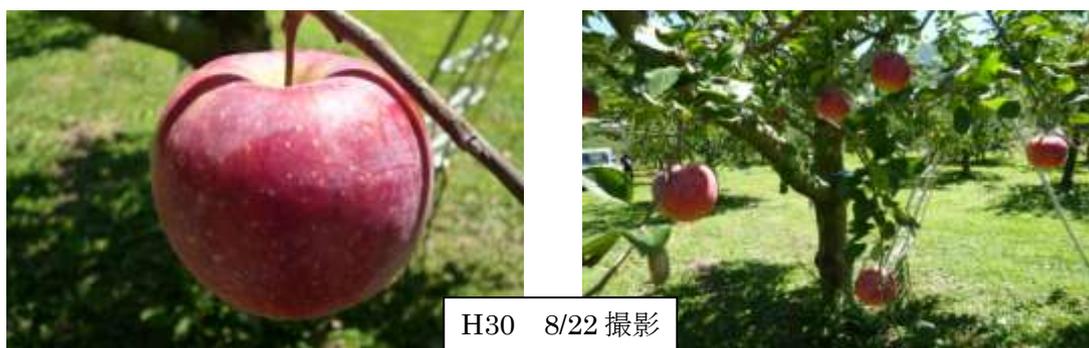
① シナノリップ ⇒ 導入例：露地ぶどう収穫前の品種として選択してみても…？

『8/20 に真っ赤に仕上がる！期待の早生種！』

中野市で 8/20 すぎに成熟期を迎えるシナノリップ。真夏の高温下でも容易に紫紅色に仕上がるのが最大の特徴です！収穫はつがると同時期で、糖度も高く甘みを強く感じる食味です。本年の平均糖度は早生としては驚異の 15% 超え。試食会でも評価は『いいね』（高評価）です。

10 年前と比べて、つがる等のりんご早生種は 4 分の 1 まで少なくなりました。しかし、消費者から真夏にりんごを食べたいとの声は消えることはありません。真夏のシナノリップ！ぜひ植えてみませんか？

苗木価格：1 年生@2,160 本/1 本 JA 養成 2 年生@2,500 円/1 本



② 百年ふじ ⇒ 導入例：昔ながらのふじから最新トレンドの百年ふじへ切り替え！

『色上がりが断然早い！ふじの核弾頭！』

越の荻原安治さんがらくらくふじの中から育成した超優良系統。苗木販売元の（株）天香園の百周年を記念して、百年ふじと名付けられました。

数多くのふじ系統のなかでも色上がりが格段に早く、10 月末には濃赤色に仕上がり、糖度も上がりや蜜入りも早いと、11 月初旬にはまとまった量の収穫ができることが最大の特徴です！ここ数年の秋の日照不足により、ふじ全体に着色遅れが顕著な中、百年ふじの色上がりはひと際早く、園地の中でも目を引く存在でした！5 年前から生産振興を始め、現在では市内各地で百年ふじが栽培され、生産者側からも『非常にいいね』（高評価）を得ています。ふじの系統はたくさんあって、どれを植えていいかわからない…悩みが長年続きましたが、百年ふじの登場でこの悩みは一気に解消できそうです。中野市で植えるなら、迷わず百年ふじでしょう！

苗木価格：1 年生@2,160 本/1 本 JA 養成 2 年生@2,500 円/1 本



③ **ぐんま名月 (あかぎ×ふじ)** ⇒ 導入例：不良系ふじに代えてみては…？

『一度食べたらやみつき！今年のトレンド品種！』

2019 果樹の品種トレンドで第 5 位に入ったぐんま名月。外観は黄色系で成熟期に入ると、赤色がさしてきます。収穫時期は中野市で概ね 11/10 頃。食味は酸味がなく、甘みを強く感じます。黄色系品種だけに、手間のかかる葉摘みは省略できること強みです。成熟に入ると日当たりの良い面が赤く発色しますが、これは糖度が高く『うまい』証拠であると言えます。一度食べたらやみつきになる！直売向き！リピーター続出！昨年開催された現地検討会でも参加者の評価は一様に『いいね！』や『やってみたい！』です。 **苗木価格：1年生@1,728円/1本 JA 養成2年生@2,300円/1本**



H30 11/5 撮影

④ **赤肉果肉おすすめ3種類** ⇒ 導入例：ふじの前に収穫。まずは1本から…

『割ってみてビックリ！そこに遊び心あるりんごもある！』

2019 年度の長野県試作品種にムーンルージュが入りました！

何かと世間の注目を集めている赤色果肉りんご。現在では中野市育成は 6 品種ありますが、そのなかでもおすすめ品種がムーンルージュ！。どれも晩生種で葉摘み不要なタイプです。主力のふじの収穫等もあるため大規模で導入することは難しいですが、まずは1本、されど1本…導入してみてはいかがでしょうか？

苗木価格：**ムーンルージュマルバ1年生@2,700円/1本**



平年収穫 11/10～



平年収穫 11/20～



平年収穫 11/5～

果樹おすすめ品種導入例

- ① つがるを栽培しているが、色が悪過ぎて、8月の収穫は無理。9月に入れば露地のナガノパープルの収穫もあるし…

回答：つがるの色上がりは、一昔の2週間遅れ。その反面、果肉軟化（ボケ）は年々早まっています。しかも樹が老木化しています。この場合は、高温下でも容易に着色するシンノリップへの更新が最適です。一刻も早めの更新を！

- ② 現在、ももやプラムは作っていない。露地ぶどうの収穫前（9月）に何か手がかからず作りたい。できればまとめて収穫したい。

回答：この場合は、着色が良く、比較的手がかからないりんご「シナノリップ」がおすすめです！収穫ポイントは地色（がくあ部）が黄色になる頃がベストです。しかも、つがるのように極端にボケることもありません。

- ③ 昔ながらのふじ（通称普通ふじ）を作っているが、色上がりがまるで遅い…できれば、11月の早い時期に収穫してしまいたい。

回答：この場合は、数あるふじの系統のなかでも色上がりが断然早く、中身のついてくる「百年ふじ」への更新がベストです。貯蔵性もその他のふじと変わりません。従来優良系をされてきた、らくらくふじの進化した系統で、しかも地元育成系統。迷わず百年ふじでしょう！

- ④ 11月に収穫できる、ふじの系統でリレー収穫したい。どのような形にすることがベストか？

回答：現在、JAでおすすめしている、ふじ優良系統は、百年ふじ・らくらくふじ・長ふ12です。3系統それぞれ、熟期が違いますし、外観（仕上がり）も違います。もし、系統収穫リレーをするとすると、百年ふじ（11月上旬）⇒らくらくふじ（11月中旬）⇒長ふ12（11月下旬）がモデルケースとなります。百年ふじは、色上がりが一番早く、中身もついてくるため、系統リレーのトップバッターとしては最適です！

- ⑤ ふじの葉摘みが大変…ぶどうの収穫も忙しいし、労力も不足しているし…晩生種で省力品種は何かない…？

回答：この場合は、葉摘み不要でまとめ収穫が可能なぐんま名月の導入が最適です。黄色系品種だけにふじのように色の具合を見ながら収穫を進めることはありません。11/10付近に挙総どりの形がとれます。ふじを無くすわけにはいきませんが、一定量ぐんま名月を導入してみたいかがですか？